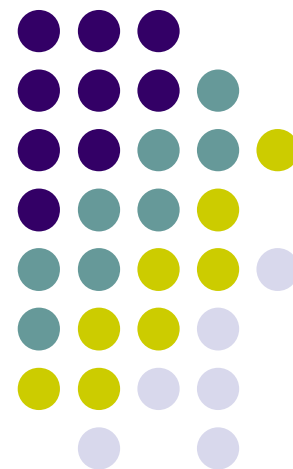


電子ジャーナルの動向

2008.9.17(水)
島根大学附属図書館
医学分館 葛原克子

本日の内容

- 医図懇アンケート結果
- 電子ジャーナルとは
- 電子ジャーナルの種類
- 契約形態など
- 電子ジャーナルの利用



医図懇アンケート結果（1）



13機関から回答

電子ジャーナル

利用していない 8

電子ジャーナル導入（検討する 3、検討なし 5）

利用している 5（有料 2、無料 4）

◎利用している有料ジャーナル

Academic Search Elite (EBSCO)

社会科学、人文科学、自然科学・医療・デザイン・コンピュータ

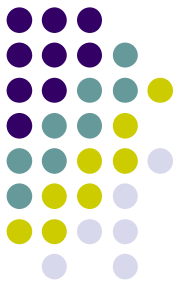
CINAHL with Full Text (EBSCO) 看護系

ProQuest Medical Library (ProQuest) 医学系

CiNii (NII) 全分野（無料で利用できるものもある）

Science Direct (Elsevier) 科学・技術・医学・社会科学

医図懇アンケート結果 (2)



◎利用している無料ジャーナル

Free Medical Journals

<http://www.freemedicaljournals.com/>

PubMed Central (PMC)

<http://www.pubmedcentral.nih.gov/>

Highwire

<http://highwire.stanford.edu/>

J-STAGE

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>

厚生労働科学研究データベース

<http://mhlw-grants.niph.go.jp/>

日赤図書館協議会の無料電子ジャーナルリスト

(国内外の無料電子ジャーナルをあつめたもの)

<http://jrch-library.peko.li/library/count.cgi>



医図懇アンケート結果 (3)ご意見

有料電子ジャーナル導入(未)

- ・電子ジャーナル自体、電子ジャーナル導入の情報が少ない
- ・利用の要望はあっても、パッケージ内容と価格の面で不採用
- ・パッケージの中に必要なものが少ない。単品購入ではメリットない
- ・契約中止後の保証が心配
- ・メディカルオンラインには興味がある
- ・契約料金はどの程度か

有料電子ジャーナル導入(有)

- ・全文が閲覧できないものもある
- ・大量の文献データを検索できるだけでも便利
- ・収録年数が短い



電子ジャーナルとは

(e-Journal、Online Journal)

Web上で、全文を閲覧できる雑誌

● 歴史

- ・1990年前半頃からネットワークを活用し、冊子体の雑誌を電子化
- ・1999年頃までは、講読冊子体の付加サービスとしての位置付け
- ・現在は電子ジャーナルとして独立

● 特徴

- ・冊子体よりも早く入手できる
- ・図書館に来る必要がない(機関内ネットワークに繋がったPCからアクセス可能)
- ・DBの検索結果から直接本文を表示できる (PubMed LinkOut、医中誌Webからのlinkなど)
- ・複数人が同時に利用できる
- ・古い号は、電子化されていない場合も多い



電子ジャーナルの種類(1)

- 無料電子ジャーナル

- 冊子体の講読で、同タイトルの電子ジャーナルを利用
最近は減少傾向(有料化が一般的)

- 完全に無料で提供

無料電子ジャーナルを集めたサイト

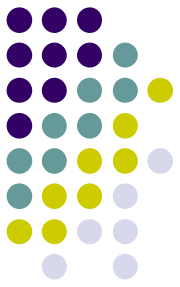
- Free Medical Journals <http://www.freemedicaljournals.com/>

オープンアクセス(デジタルでオンライン上にあり、無料、著作権・使用権制限の多くを受けないもの)

- Highwire <http://highwire.stanford.edu/>
- BioMed Central <http://www.biomedcentral.com/>
- PubMed Central <http://www.pubmedcentral.nih.gov/>
- DOAJ(Directory of Open Access Journals) <http://www.doaj.org/>
- J-STAGE <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>

国内の科学技術情報関係の電子ジャーナル発行・閲覧システム

電子ジャーナルの種類(2)



- 有料電子ジャーナル

- 単体講読

- 個々のタイトルごとに講読

- セット講読(パッケージ)

- 出版社型** 自社出版雑誌をまとめたもの

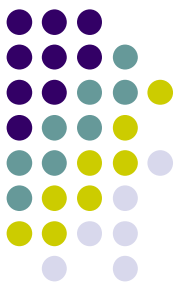
- Sience Direct(Elsevier)、SpringerLINK(Springer) など

- アグリゲータ系** 複数出版社の電子ジャーナル統合

- ProQuest

- コンソーシアム

- 業者に対して、複数の図書館が共同で購入・利用契約をするもので
有利な利用条件の確保ができる(日本医学図書館協会等)



主な電子ジャーナル：出版社別（1）

- **Journals Consult (ジャーナル・コンサルト) Elsevier**

Science Directをベースに提供される医療機関ユーザー向け電子ジャーナルパッケージ講読ではなく2000誌を超える搭載誌から講読タイトルを選び契約

価格：電子ジャーナルのみ・・・冊子体の110%～120%

* 講読規模（冊子体含前年度講読料金合計）、病院規模により異なる

- **LWW Hospital Fixed 10 E-only LWW Journals@Ovid**

大学病院を除くすべての病院対象

LWW出版の、予め選ばれた10タイトルのパッケージ

価格：通常価格の15%OFF * 2009年価格：1,512,800円（税抜き）

フリートライアル：<http://www.ovid.jp/site/trial/index.html>

- **LWW Hospital Custom 10 E-only**

LWW出版の、候補リストから最低10タイトル以上を契約

価格：通常価格の10%OFF



主な電子ジャーナル: 出版社別(2)

- ProQuest Medical Library ProQuest

複数出版社の電子ジャーナルを統合したアグリゲータ系
医学、医学関連分野の900誌を収録

- メディカルオンライン (株)メテオ

国内学会・出版社発行の医学歯学薬学系分野雑誌

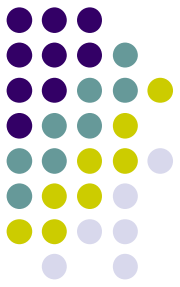
検索、抄録閲覧は無料

医図懇加盟館特別プラン(島根大学を含め6館以上で
成立)



価格体系・契約形態

- **価格体系**
 - ・Print版のみ、Onlineのみ、Print+Online
 - ・個人のみ、講読機関のみ、サイト契約
- **同タイトルでもユーザごとに価格が変化**
 - ・講読機関の規模(FTEベース)、サイトの数など
- **講読中止後のアクセス、バックファイルへのアクセス**
 - ・講読中止後アクセスが認められない、中止時に過去年度分の電子ファイル(CD-ROM等)を提供、講読期間分へのオンラインアクセスが認められる契約など様々な形態があるので確認が必要
 - ・バックファイルも、一定の金額が毎年課金される、バックファイルがひとつのパッケージ商品とされるなど様々であるので確認が必要



電子ジャーナルの利用

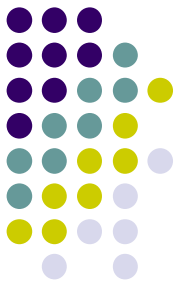
● Pay per view

非契約誌でも文献単位でフルテキストの購入が可能なものあり
利用する場合は、個人で登録しクレジットカード決済

● 利用ルール

- ・個人利用以外の目的での使用禁止
- ・大量のダウンロードの禁止
- ・第三者へのデータ転送の禁止
- ・ILLでの利用は同国内で学術目的。論文単位で、印刷したものの郵送、FAX転送は可能

講読冊子の電子ジャーナルを使う



- 当該雑誌が講読者無料の電子ジャーナルを用意しているか確認(雑誌契約業者に閲覧できる電子ジャーナルの一覧表を作成してもらうと便利)
- 当該雑誌のSubscriber Number (Customer Number)を入手(雑誌送付ラベルに記載)
- 雑誌のサイトを開き(オンラインアクティベート方法など)登録画面を表示し、Subscriber Number を入力し登録画面に接続する
- 自室の情報(管理者名、メールアドレス、ユーザネーム、パスワード、IPアドレスなど)を入力し登録(登録情報は印刷して保存)
- 登録完了のメールがあったら、接続を確認し利用する